

2023 年度以降の授業実施方法等について

在学生、ご家族の皆様へ

東京理科大学 学長

依然として新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えない中ではありますが、本学では感染症の拡大防止に最大限努めたうえで、2022年3月10日付で通知した「[2022年度 授業の実施方針について（第二報）](#)」に基づき、教育研究活動を推進しています。このことにより、オンラインを活用した授業をはじめ、様々な取組から、効果的・効率的な授業を運営するための有用な知見も多く得られています。

このことから、2023年度以降の授業についても、同方針の趣旨に基づき、十分な感染防止策を講じることを前提とした上で、対面で実施することを基本とし、併せて、各授業における目的、到達目標、内容、方法等を考慮し、対面授業、ハイフレックス型授業(一つの授業を対面とオンライン(同期遠隔)で同時に行う形式)、ブレンド型授業、オンライン授業(同期・非同期)等、効果的・効率的な方法で実施することとします(今後、これを「東京理科大学における授業実施の基本方針」とします)。

また、[別途お知らせしていますが](#)、本学では、2023年度から従来各キャンパスにおいて個別の事情により設定していた授業実施時間を、全学で統一することとなりました。これにより、他キャンパスで開講する専門・一般教養科目のオンライン受講の環境整備や、領域横断型の学修プログラムの提供等、効果的・効果的な教育課程を編成することを推進します。

これらの取組により、教育の多様性を拡大することで、学生の皆さんが“未来を拓く実力”を育むことができるよう、学修者本位の教育の実現に向けて、更なる教育・学修の質の向上等を目指してまいります。

また、重ねてのお願いになりますが、マスクの着用、手指の消毒等の感染予防、感染拡大防止のための対策をあらためて徹底いただくとともに、特に、学内外を問わず飲食を伴う会食等の際には十分な感染予防対策を講じること、人との距離の確保、三つの密の回避等についても継続して留意いただくなど、一人一人が自覚ある行動を取っていただくよう、引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

なお、今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況や政府・自治体からの要請によっては、授業実施の基本方針以外の方針等を定める場合があります。その場合には別途お知らせいたします。

東京理科大学における授業実施の基本方針

授業実施にあたっては、対面で実施することを基本とし、各授業における目的、到達目標、内容、方法等を考慮し、対面授業(すべての回を対面)、ハイフレックス型授業、ブレンド型授業、オンライン授業(同期・非同期)等、効果的・効率的な方法で実施することを可能とする。

授業の実施形態について

本学では授業の実施形態を以下のとおり定義しています。

1. 対面授業

教室で対面により行う授業

2. オンライン授業

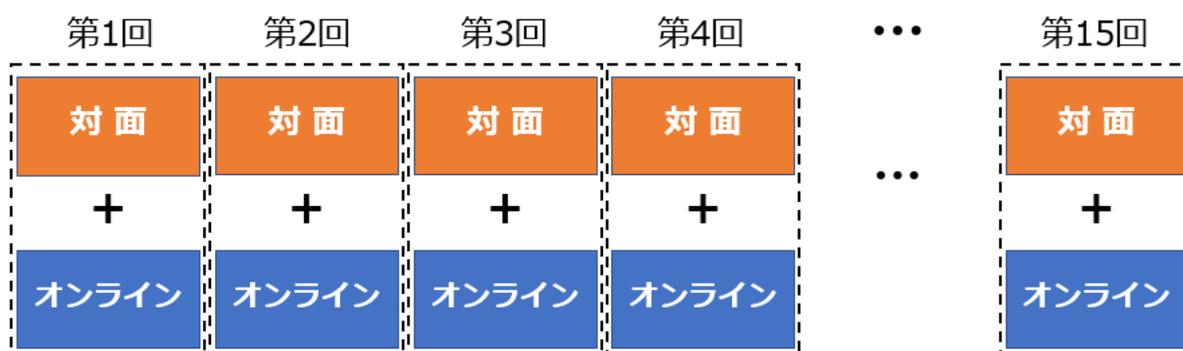
同期遠隔又は非同期遠隔により、オンライン上で行う授業。

3. ハイフレックス型※授業

一つの授業を対面とオンライン（同期遠隔）で同時に行う形式。

教員は対面で授業を行い、学生は自身の状況に応じて対面授業を受講するか同期遠隔型のオンライン授業を受講するか選ぶことができる。 ※ハイフレックス：Hybrid-Flexible

(イメージ)

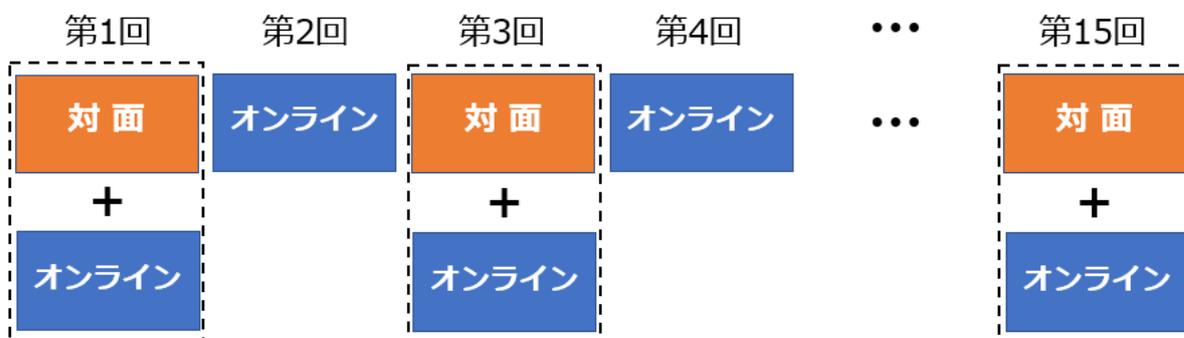


4. ブレンド型授業

授業の目的・教育効果等にあわせて授業ごとに対面とオンラインを組み合わせる形式。

15回の授業のうち初回や対面が望ましい回等は対面で行い、それ以外はオンラインで行う。

(イメージ)



※上記イメージでは対面実施の回をハイフレックス型授業としているが、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じることができる環境であれば、履修者全員が対面授業に参加しても差し支えない。